

TOYOTA **L&F**

トヨタL&F中部株式会社

2025 CSR報告書

トヨタL&F中部株式会社



お問い合わせ先

トヨタL&F中部株式会社

〒466-8502 名古屋市昭和区高辻町6-8 TEL:052-882-6471

レポートの内容はトヨタL&F中部のウェブサイトにも掲載されています。

<http://www.toyota-lf-chubu.co.jp>



再生可能な植物由来油、およびリサイクルした再生油を原料とした植物油インキを使用しています。



トヨタL&F中部 基本方針

誇りを胸に 至誠ある行動で 総合力を発揮する

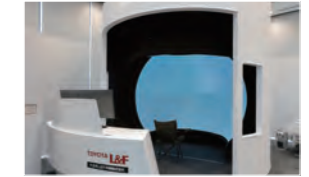
1. 一人ひとりが自ら考え、熱意を持って行動する
2. 常にお客様の懐に飛び込み、共感・信頼される企業をめざす
3. よき企業市民として企業の社会的責任を果たす

社長メッセージ

お客様の声を的確に捉えることを大切に

社会情勢の変化に伴い、原油・原材料価格の高騰や人手不足など産業にも様々な課題が生じ、先行きが不透明な状況が続いています。

一方で、経済活動が厳しい中でもカーボンニュートラルを含むSDGsへの取り組みは、一層活性化しており、その活動の推進をお手伝いしていきたいと考えております。



電動フォークリフト geneB

自動倉庫

VRドームシアター

豊かな未来に向けて、クリーンな環境で社会に貢献

2024年も環境省策定の「エコアクション21」を継続して認証取得しました。また、この度、三重県の大安地区に大安営業所を設立し、この営業所においても工場に直流給電システム、排水処理装置も設置しております。引続き各事業所は「PRO-up活動」に取り組み様々な改善や作業効率化、環境保全活動に繋げております。



大安営業所

直流給電システム

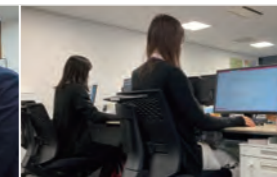
UF膜廃水処理装置

PRO-up 活動

10年先もお客様に選ばれる会社をめざして歩み続ける

お客様の変化やご要望にお応えしていくためには、人、つまり社員の力を欠かすことはできません。

お客様や社会から選ばれる会社となるべく、社員が心身ともに健康でイキイキと活躍できる「風通しが良く、健康的な職場環境づくり」も重要なミッションと考えます。また、人材育成、コンプライアンスの醸成、事故ゼロ、労災ゼロを目指し「現場一体経営」「健康経営」を継続し、企業風土改革を永続的に実施してまいります。



コンプライアンス等の勉強会

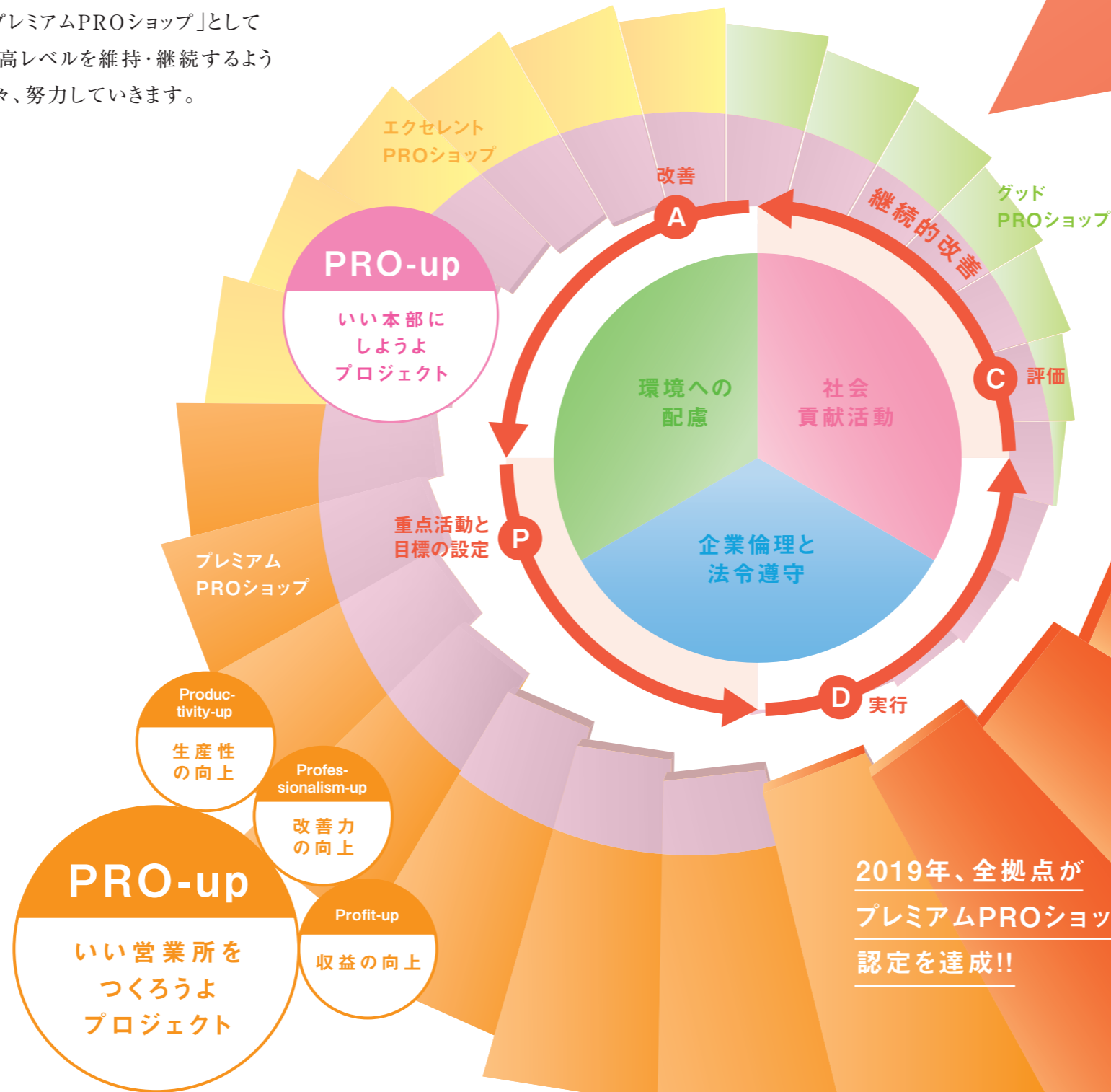
正しい業務オペレーションの実践・働きたいと思える職場環境への改善

小集団活動

代表取締役社長 **長谷 武**

いい営業所へ。そして、いい本部へ。 PRO-up 活動は次のステージへ。

現状の品質向上により、優れたプロを目指し、生産性や収益の向上を目指すPRO-up活動。
私たちは、安全衛生、環境、5S、販売サービス、コンプライアンス、営業実績評価に独自の取り組みを加え、「プレミアムPROショップ」として最高レベルを維持・継続するよう日々、努力していきます。



もっと上を目指し
2030年ビジョンへ

2019年、全拠点が
プレミアムPROショップ
認定を達成!!

トヨタL&F中部株式会社 2025 CSR報告書

TOYOTA L&F CHUBU 2025 CSR REPORT

目次

- 社長メッセージ ————— 1
- トヨタL&F中部のご紹介
活動は次のステージへ ----- 3
白金オフィス紹介 ----- 5
カーボンニュートラルに
貢献する商品紹介 ----- 7
- CSR活動の推進
CSR活動の主となる3本柱 ----- 9
- よりよい地域づくりに
私たちができること ————— 11
地域社会との関わりについて ----- 12
- 環境へのやさしさで豊かな
自然を次の世代に ————— 15
環境に関する取り組み ----- 16
当社の業務と環境保護と改善 ----- 19
緊急事態の予防と対策 ----- 20
- お客様と社員のために
大切にしたいこと ————— 21
コンプライアンスへの取り組み --- 22
- その他の活動 ————— 24
- トヨタL&F中部
環境保全・CSR活動のあゆみ — 25
- 拠点紹介 ————— 27
- 会社概要 ————— 28

白金オフィス紹介

様々な工夫を凝らし、お客さまに見て・触って・実感していただけるショールームやKY道場、整備の様子を見ていただくための見学通路など、魅せるオフィスです。



工場の作業ストール



作業ストールの見学も可能

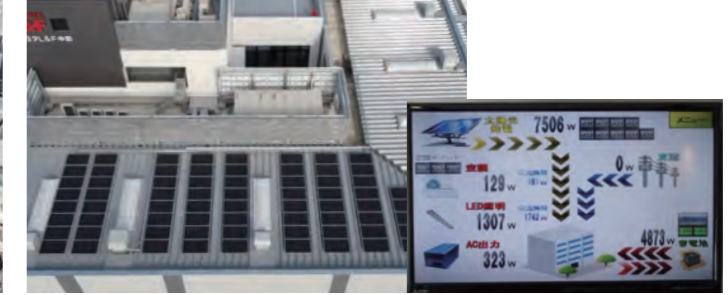


見学通路(2F)

BCPも考慮された拠点



屋上が200名収容できる避難場所に



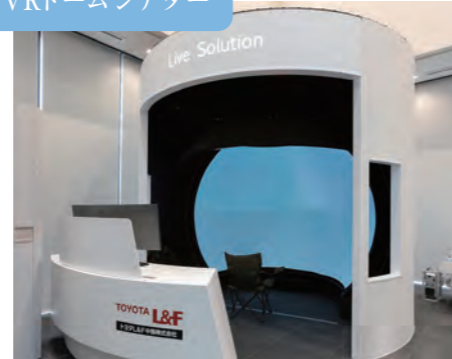
直流給電システムで災害時の自家発電可能

非接触型の空中投影式ディスプレイ



感染症にも配慮した受付

VRドームシアター



VRを活用し実際の現場の再現が可能

災害用備蓄品を、万が一に備え分散して管理



倉庫



会議室座席下

KY道場



危険に気付く人材育成をコンセプトに階段の昇降から2S(整理・整頓)の在り方を展示

パネル展示



お客様見学ルートに当社のCSR活動をはじめとする様々な取り組みをパネルで紹介展示

物流の2024年問題を解決する機器の紹介



DXを用いた改善紹介

カーボンニュートラルに 貢献する商品紹介 (CO₂排出量の削減)



より使いやすく。よりエコに。

最適な物流環境の構築をサポートする商品ラインアップの一部をご紹介します。

稼動時にCO₂排出ゼロ

電動フォークリフト geneB

エネルギー効率を追求し、断トツの稼動時間をさらに延長。世界初の充電機能をはじめとした最新技術によりバッテリーも長持ちさせます。



電動フォークリフト Ecore

コンパクトなボディと小回り性が、狭い場所での作業に最適。安定性も良く、様々なシーンで活躍します。



電動フォークリフト Rinova

抜群の旋回・荷役安定性で、確実な作業をサポートし、スムーズに発進、走行、制動。ストレスのない安心のオペレーションを実現しました。



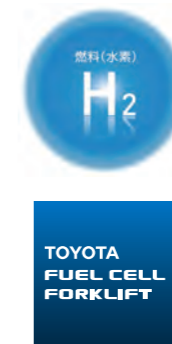
電動フォークリフト Rinova AGF

無人・有人運転が思いのまま。異常時の復旧もその場の簡単な操作で行えるようになりました。



燃料電池フォークリフト

水素と酸素を使って作り出されたエネルギーは、使用する時にCO₂を一切排出しません。また、水素の充填は約3分と非稼動時間を大幅に低減できます。



鉛バッテリーと比較し充電効率が高く、
充電時のCO₂排出量を約20%削減可能

電動フォークリフトけん引車用リチウムイオンバッテリー ENELORE

トヨタ電動フォークリフトやけん引車に搭載することでリチウムイオンバッテリー仕様が可能。急速充電による長時間稼動が可能となり、補水や清掃などのメンテナンス作業も不要となります。



エアコンに比べて使用電力は少なくなり、
発電によるCO₂削減に貢献

電動ファン付ウェア / 空調風神服 / 気化式冷風機 雷神服 / 雷神服 / クールファン



電動化により稼動時にCO₂排出ゼロ

電動トーイングトラクター

エンジン車と同等のけん引能力、登坂能力を持った環境に優しい電動トーイングトラクターです。リチウムイオンバッテリー搭載も可能です。



全体空調と比較し、
必要なとき必要な場所だけ運転すれば
エネルギーの消費低減に貢献

デンソースポットクーラー / デンソー遠赤外線ヒーター INSPAC / ENSEKI



当社CSR活動の主となる3本柱

社会貢献

車いす寄贈活動



チャリティバザー支援「1人一品貢献活動」



海外たすけあい義援金



当社が過去から継続している各々の活動がSDGsに結びついています。



SDGsへの
関わり

カーボンニュートラルに貢献する活動

ソーラーパネルの導入



SDSリスクアセスメント実施

電子マニフェストの導入

排水浄化装置の導入



セーフティチェック

内部統制監査



反社会的勢力排除に関する基本方針

環境への配慮



環境省
エコアクション21

エコアクション21
への取り組み



PRO-up 活動

法令の順守

よりよい
地域づくりに
私たちができること
(社会貢献活動)

地域社会との連携

CSR推進部の発足当時は、寄贈活動が主な社会貢献活動でしたが、年を重ねる毎に、社員参加型の人的ボランティアなど活動を増やしてきました。また、2011年からは、社外のボランティア団体様と協力して行う活動も新しくスタートし、社内だけでなく、地域と連携協力した活動にも当社CSRとしての活動の幅を広げ続けています。

地域への貢献



福祉への支援



「海外たすけあい」 募金への参加



地域社会との関わりについて

■ 愛知・岐阜・三重3県に地域貢献活動を行う登録をしました。

愛知県：愛知県安全なまちづくり・交通安全パートナーシップ企業

岐阜県：岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業

三重県：個別申請(三重県警察本部様及び三重県庁様)

三重県では、愛知県・岐阜県のような企業登録制度がない為、三重県警察本部様及び三重県庁様に交通安全活動と並行して社会貢献活動を行うことを書面で申請しました。



■ 「安全・防犯パトロール」の活動

当社サービスカーに「安全・防犯パトロール協力中」のステッカーを貼付しています。近隣住民の皆様の「安全・防犯」に対する協力が目的です。愛知・岐阜・三重、県別でそれぞれのキャラクターを使用し、各県用に3種類のステッカーを作成しました。



■ 「子ども110番の家」の活動

お子様が困った時に飛び込めるように、25拠点に「子ども110番の家」の看板を設置しています。また、マニュアルも作成し、緊急時に適切な対応が取れる体制づくりをしています。



■ 地域交流

地域やお客様が主催されているイベントへの参加を行っており、地域住民の皆様と交流できる良い機会となっています。



■ 地域清掃活動(まちなかクリーンデー)

毎月決められた日に、本社も含めた全拠点の周辺区域の清掃活動を実施しています。



■ 車いす寄贈活動

当社販売エリアの愛知・岐阜・三重3県下の社会福祉施設様を対象に、車いす寄贈活動を行っています。これまで18年間の寄贈を経て、560の社会福祉施設様へ合計1080台の車いすを寄贈しました。毎年、多くの施設様から感謝の書状をいただいています。

2024年度の
車いす寄贈式の様子



愛知



岐阜



三重

■ バザー用品寄贈活動（チャリティーバザー支援「1人一品貢献活動」）

全社員に対してボランティア活動への機会をつくり、社会貢献への意識を高める事を目的として行っている活動の一つです。集められたバザー用品は、愛知、岐阜、三重3県下の社会福祉協議会様を窓口として、社会福祉施設様へ寄贈しました。これらの品々は、バザー用品としてだけではなく、施設で不足している日用品や、レクリエーションの景品としても役立っています。

2024年度の
バザー用品寄贈の様子



愛知



岐阜



三重

社外ボランティア団体様と協力した活動も行っています。(車いすサポート活動)

車いす寄贈活動の次なるステップとして、2011年1月よりNPO法人アジア車いす交流センター様(通称 ^{ワフカ} WAFCA 様)をサポートする活動をスタートさせました。寄贈活動だけで終わらせるのではなく、^{ワフカ} 車いすを維持する面でもお手伝いしたいと、車いす修理のボランティアを行っている WAFCA 様の運搬業務を当社がサポートし、サービスエリア拡大のお手伝いをしています。



■ 年末義援金

毎年年末に行われている「海外たすけあい」募金キャンペーンに社員一人ひとりが参加しています。寄せられた寄付金は、世界各地の紛争や自然災害、感染症などに苦しむ人々のために役立てられます。



■ トヨタL&F中部OB会総会 募金活動

毎年1度開催している当社のOBが参加する総会にて、社会福祉貢献を目的とした、募金活動を行っています。集まった募金は、中日新聞社会事業団様へ寄託をしております。



環境へのやさしさを
豊かな自然を
次の世代に
(環境保全活動)

環境への配慮

環境に関する基本理念 2001年12月1日に「トヨタL&F販売店環境ガイドライン」に基づき、環境問題への対応について積極的に取り組むことを宣言し、環境対応を経営の最重要課題のひとつとして活動してきました。企業活動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組むとともに、クリーンで安全な優れた品質及びサービスを提供し、人と環境に配慮して社会と共に発展する企業をめざします。

産業廃棄物の管理の徹底



電力使用量削減対策と節電設備の導入



環境リスクを考慮した社内環境改善と取り組み



環境に関する取り組み

エコアクション21の活動と外部審査

ATグループ全体で、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」に取り組んでおり、当社もATグループの一員として毎年、エコアクション21の審査員の方による書類審査、現場審査を受審しています。



ATグループ「3つのかえる活動」

ATグループは、エコアクション21の活動にプラスして、各事業会社毎に、「2030年度に排出されるCO₂を2019年度比30%削減」を目標とした「3つのかえる活動」を推進しています。

トヨタL&F中部株式会社の「3つのかえる活動」

	項目	取組事項	当社の主な活動内容
1	モノを替える	省エネ機器の導入	照明のLED化
2	常識と行動を変える	エネルギー使用量の対前年1%削減	電力・燃料・水道使用量の情報公開による社員の削減意識向上
3	自然に還る	環境活動への参加	植林事業への寄付活動を2022年度からスタート



モノを替える -節電設備の導入-

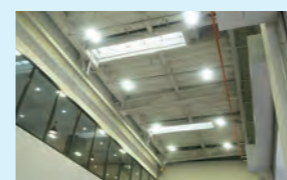
再生可能エネルギーの活用



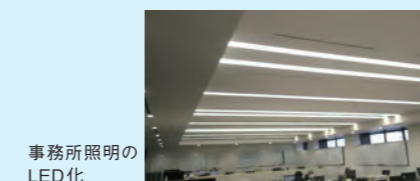
太陽光発電装置



ソーラー発電のLED照明灯



工場照明のLED化



事務所照明のLED化

直流給電システム

電力を効率良く利用できる設備も一部拠点で導入しています。



蓄電装置



フォークリフト用バッテリー

省エネ設備の導入

常識と行動を変える

① エネルギー使用量とCO₂排出量の情報展開

電気・ガス・水道・自動車燃料の使用量やそれに伴うCO₂排出量をグループ会社独自のポータルサイトにて、全社員が確認できる様にしています。毎月の各使用量の情報を展開することで全社員の意識向上を図り、CO₂排出量削減に繋がっています。

② 社内の自動車利用による燃費改善活動

社員の安全運転及びエコドライブの意識向上により、自動車利用でのCO₂削減に繋がっています。

③ 社内報を利用での情報展開

当社に関わるカーボンニュートラルに貢献する活動内容について、社内報を活用し情報展開しています。

自然に還る

「CO₂削減を絡めた環境活動への参加」「CO₂吸収量を上げる木々の植林事業の推進」への協力として、森林、里山林の緑の整備等の植林事業へ寄付を、2022年度より実施しています。

(寄付先:あいち森と緑づくり基金)

■ 寄付金の内容

バッテリー車販売 1台毎に100円として年間販売台数×100円を寄付



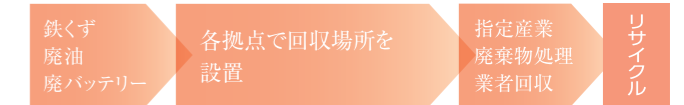
産業廃棄物処理業者と廃棄物処理の適正

各拠点の工場内で排出された産業廃棄物について、できる限りリサイクルする体制を構築し、リサイクルできないものに関しては、産業廃棄物処理業者を通して、適正に処理しています。

処理の状況については、電子マニフェストにて確認し、廃棄物の不法投棄による環境汚染の防止に努めています。

また、産業廃棄物処理業者へ本部関連部署や営業所が定期的に訪問し、処理方法などについて確認しています。

○リサイクル可能な産業廃棄物の処理の流れ



○リサイクル不可の産業廃棄物の適正処理の流れ



より多くの再利用、再資源化をめざす主な活動

●現場の分別徹底(現場廃棄物分別看板)



再資源化できる品目を増やしリサイクル向上へ

●産業廃棄物処理業者との契約書内容を100%管理(処理の流れ・許可期限)

- ・産業廃棄物の最終的な処理方法確認(リサイクルされているかの確認)
- ・法律での要求項目対応として、契約書情報をデータベース管理(許可期限切れの防止)

環境を考えた業務活動事例

■ バッテリーのリフレッシュによる再利用・再資源化(バッテリーサービスセンター)

中古バッテリー製造販売、バッテリーリフレッシュサービスによる、バッテリーリユースを促進し、環境負荷削減に貢献しております。又、バッテリーをより長くご使用いただく為、お客様向けに正しい取扱いや、必要なメンテナンスについての講習会も実施しております。

● バッテリーリフレッシュ工程の例

① Before



② 洗浄工程とリフレッシュ工程



③ After【完成】



社内環境改善への取り組み

■ 環境法令に関する測定の実施
各拠点の工場から出る騒音や排水について法定基準を順守できているかを確認する為、定期的に測定をしています。



■ 環境リスクを考慮した設備の導入

環境リスクを低減及び、安全確保する為の設備を導入しています。

UF膜廃水処理装置

汚水の外部流出に対する安全確保を目的として導入
<油の除去>



地上廃油タンク

廃油地下漏洩に対するリスク軽減と目で見える管理が可能



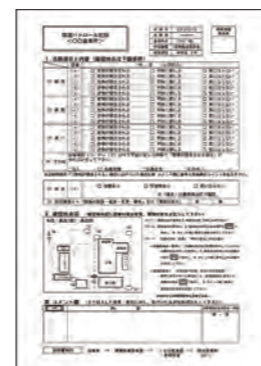
■ 当社で使用する化学物質の管理徹底

修理、点検で使用する油脂やスプレー等に含まれている全ての化学物質に対して、安全性、有害性等の総合評価と化学物質に対するリスクアセスメントをしています。社内で情報展開する際には電子データ化し、当社独自の電子掲示板に掲載している為、情報の早期検索と取り出しが可能です。情報管理を徹底する事で、緊急時での確実な対応によりお客様にご迷惑をかける事や、社員の安全性確保をより一層強化します。



■ 環境パトロールの実施

半年毎に苦情を考慮し、周辺への悪影響を洗い出す為、騒音・振動・臭い・排水などを全拠点で記録し、問題発生時の未然防止に役立っています。



環境パトロール記録

訓練計画を立てる

訓練の実施

スタッフに合わせた教育



環境教育・訓練計画書兼実施報告書

各拠点毎に年度初めに年間の環境教育・訓練計画を立て目標に従い活動を進めています。



対象者を決め、迅速な対応が出来るよう計画に基づき訓練しています。



各拠点が緊急時に円滑に作業できるように、スタッフに合わせた教育及び訓練を実施し、能力向上を図っています。

■ 緊急資材を全工場に常備・全サービスカーに搭載

油脂等の漏洩時には、「油脂類交換作業手順書」に基づき回収作業を行います。緊急時の備えとして工場用、サービスカー用の緊急資材を設置しています。取り扱い方法を記載した「緊急資材取扱い要領」は全工場内への掲示、サービスカーへの搭載を徹底しています。



緊急資材(サービスカー用)

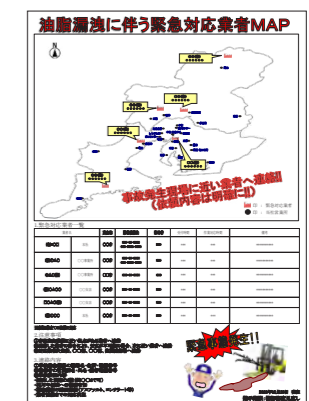


緊急資材(工場用)

被害拡大を防ぐために

■ 油脂漏洩時の対策として緊急対応業者マップの作成

緊急事態発生時に、契約業者にどのように依頼するのかをマップ化し全社展開しています。地域によって、対応できる業者が異なるため一覧にしています。被害を最小限に抑えるため発生場所から、一番近くにある契約業者が明確になっている事で、被害拡大の防止につながります。



油脂漏洩に伴う緊急対応業者マップ

お客様と
社員のために
大切にしたいこと
(企業理念と法令順守)

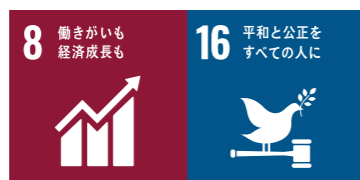
適正・誠実な企業活動について

当社は、法令や社内ルールを順守し、適正で誠実な企業活動を行っていくことを通じて、お客様をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆さまに信頼される企業となることを目指しています。また社員の能力を最大限に引き出し、働きがいのある職場環境をつくることにより、当社の持続的成長に結び付けていきたいと考えています。

コンプライアンス チェック



リスク管理



職場環境の整備



コンプライアンスへの取り組み

主な取り組みについて

■ 反社会的勢力の関係遮断

暴力団排除条例の趣旨に則り、お取引させて頂く全てのお客様、仕入先様に反社会的勢力では無いことを確認する為の「確認書」へご署名、ご捺印を頂戴しております。また、「反社会的勢力の関係遮断宣言」を弊社ホームページに掲載しております。



■ 運転免許証の確認及びアルコールチェックの実施

社員一人ひとりの運転免許証を定期的を確認することにより、運転免許証の有効期限切れを防止するとともに、日々のアルコールチェックを適切に実施し記録を残すことにより、道路交通法を順守しております。



■ ハラスメント防止

男女雇用機会均等法などで規制されている個人の尊厳を損なう行為である、ハラスメントの発生を未然に防止する為に「ハラスメントガイドライン」の発刊並びに社員への教育を行っております。また、社員からの相談にも適切に対応できるよう社外・社内の相談窓口を開設し、相談者の保護に主眼を置いたルールを制定しております。



■ 健康経営の実践

定期的に職場が労働基準法や労働安全衛生法などに準じた安全な環境になっていることを営業所と本部部署が確認することにより、社員一人ひとりが心身ともに健康でイキイキと活躍できる健康的な職場環境づくりに取り組んでおります。また、2020年から経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されております。



健康経営の重点取り組み事項

① 社員と家族の健康増進

健康診断受診の徹底／家族の健診受診推進／生活習慣病対策強化／ストレスチェックの全社員実施

② 健康的な職場環境づくり推進

職場コミュニケーション活性化／メンタルヘルス対策／禁煙促進・受動喫煙防止への取り組み／各種ヘルプラインの周知

③ ワーク・ライフ・バランス推進

働き方改革による業務効率化推進／労働時間適正化／社員への健康教育と理解促進

■ 仕入先様への適切な発注

仕入先様へ適切な発注が行えるよう、社員へオンラインを利用した下請法の教育を定期的実施しております。また、公正取引委員会からの調査にも協力しております。

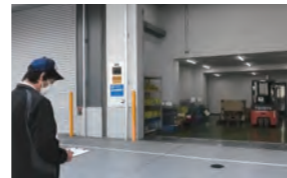


活動確認

<社内チェック>

■ 所内パトロール

毎日は安全日誌、毎月安全衛生巡回表に基づいて巡回し環境・安全のリスク管理を行っています。



<社外チェック>

■ 内部統制の確認

会社法や下請法等の法律に則した当社の業務ルールが適切に運用されているのか、有限責任監査法人トーマツ様や株式会社ATグループ監査部による定期監査を、営業所にて実施しています。



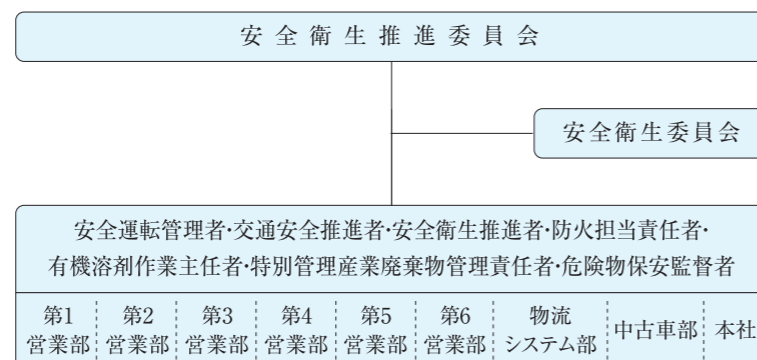
■ 社内教育

会社法や下請法、労働基準法等の順守について、拠点自ら行う自部門監査や定期的な本部監査を行うにあたり、監査員に対しても、正しい監査方法の教育を、様々な方法で行っています。



安全衛生委員会の実施

職場の安全確保のために、安全衛生推進組織を設けて、会議を実施しています。改善対策等、決定事項については、全拠点の責任者に展開され推進していきます。安全衛生組織は本部だけではなく、各拠点毎でもつくり、会社全体でのリスクアセスメント対策に取り組んでいます。



その他の活動

働きやすい職場づくりの推進

オンラインを活用し、業務での「ムダ」「ムリ」「ムラ」を無くす事や、社員の声を聴く活動等、働きやすい職場づくりを目指して様々な活動に取り組んでいます。

■ オンラインの有効活用

● オンラインを活用した会議と講習

多数参加の会議や講習をオンラインを活用して実施し、ソーシャルディスタンスの確保、参加者の移動時間の短縮化が可能になりました。



オンライン会議

● 迅速な情報共有の推進

現場と本部との迅速な情報共有を目指し、マニュアルの動画化を進め各拠点へ展開しています。

■ 小集団活動の実施

営業所内のコミュニケーション向上と、営業所の一体感を創出する事を目的とし、社員同士の会話する機会を定期的に設けてコミュニケーション能力を向上する活動を行っています。



小集団活動

社員への活動内容の周知(コミュニケーション)

当社のCSRに関する内容を2007年7月より月に1度、社内報の「CSRだより」として発行しています。日ごろ携わる業務や身の回りに潜むリスク、近年では当社のSDGsの活動についての社内通知ツールとしても活用しています。

月1回発行
年12回通刊



災害時に備えた活動と取り組み

防災訓練を行っており、2008年より新たに救命講習(AED講習)も取り入れました。2011年からは、災害対策マニュアルなど各種手順等をまとめた「地震災害対策マニュアル」及び「事業継続計画(BCP)マニュアル」を作成。携帯電話を利用した安否情報確認システムを活用し、迅速な安否確認も可能にしています。想定される様々な被害に対し準備態勢を構築することで、社員の安全確保を第一に考え、備えています。



トヨタL&F中部 環境保全・CSR活動のあゆみ

2025年3月末現在



9月/愛知県パートナーシップ企業に登録
10月/岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業に登録
10月/三重県警察本部様及び三重県庁様に社会貢献活動始動の登録

6月/岩手・宮城内陸地震と四川大地震への災害義援金を寄託



1月/名古屋市地域防災協力事業所に登録
2月/ハイチ大地震への災害義援金を寄託

1月/当社創立50周年記念として「50周年記念チャリティー募金」を実施し、児童養護施設のお子様たちへの支援を目的として義援金を寄託
<愛知県内26施設様へ陶面づくり教室及び物品寄贈活動を実施>
3月/東日本大震災への災害義援金を寄託



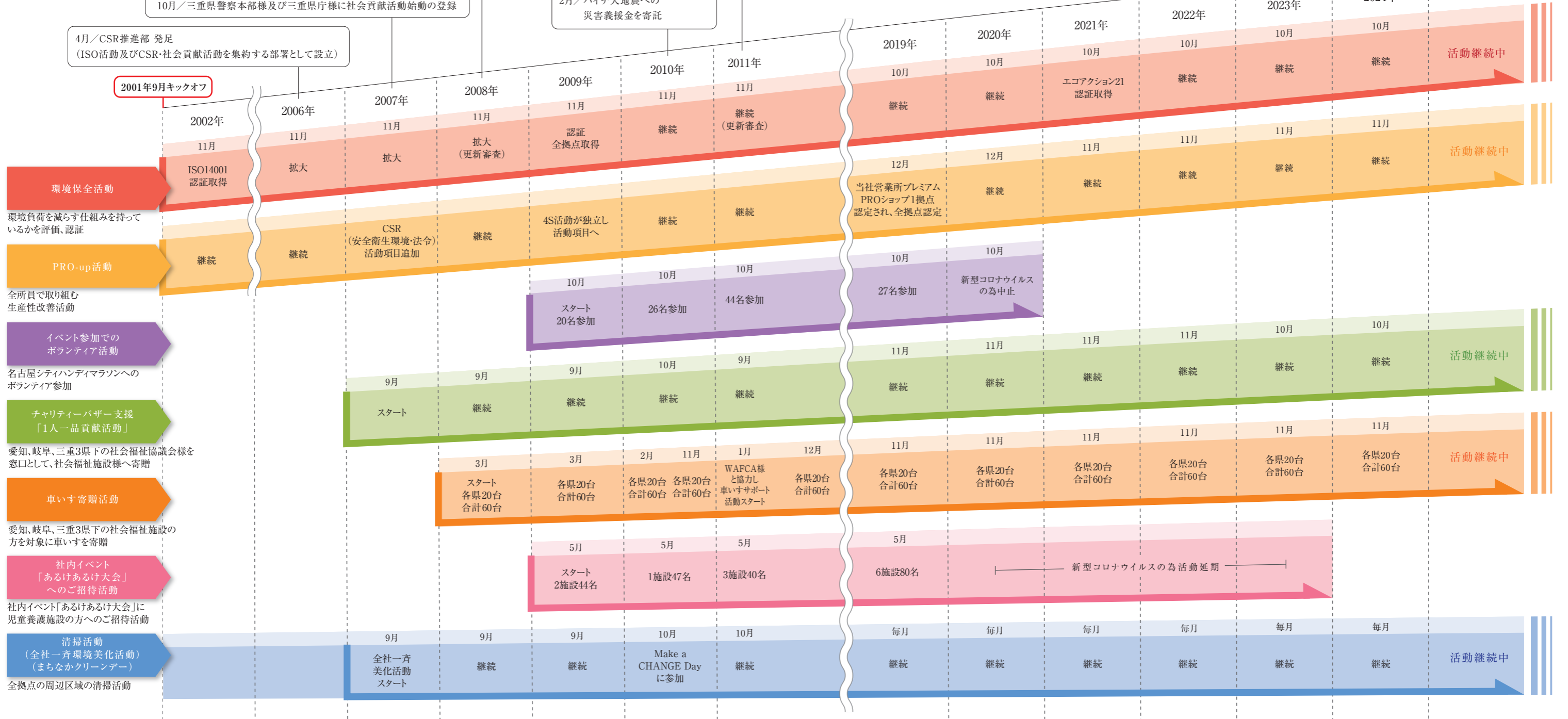
2016年にAEDを全拠点設置



2014年より献血活動を実施

4月/CSR推進部 発足
(ISO活動及びCSR・社会貢献活動を集約する部署として設立)

2001年9月キックオフ



「名古屋シテイハンディマラソン」へのボランティア参加



チャリティーバザー支援「1人一品貢献活動」



車いす寄贈活動



社内イベント「あるけあるけ大会」へのご招待活動



清掃活動(まちなかクリーンデー)

営業所一覧

愛知県

●高辻営業所 名古屋市昭和区白金3-7-12
TEL(052)882-6419 / FAX(052)871-9453

●名港営業所 海部郡飛島村木場2-105
TEL(0567)55-0722 / FAX(0567)55-0721

●東海営業所 東海市名和町後西72
TEL(052)604-1821 / FAX(052)604-8801

●知多営業所 常滑市松原字勇田51-7
TEL(0569)34-4800 / FAX(0569)34-4979

●尾張旭営業所 尾張旭市向町2-5-15
TEL(0561)54-4711 / FAX(0561)54-4715

●小牧営業所 小牧市大字横内14-1
TEL(0568)77-5365 / FAX(0568)77-2514

●北名古屋営業所 北名古屋市の山之神東100
TEL(0568)23-9211 / FAX(0568)23-9216

●豊田営業所 豊田市鴻ノ巣町1-1-3
TEL(0565)28-3512 / FAX(0565)29-9338

●三好営業所 みよし市助生町上永井田3-1
TEL(0561)33-5731 / FAX(0561)33-5737

●刈谷営業所 刈谷市幸町2-2-8
TEL(0566)21-6107 / FAX(0566)24-6617

●西尾営業所 西尾市新渡場町大西22-4
TEL(0563)54-3181 / FAX(0563)54-1751

●岡崎営業所 岡崎市大平町字榎田27
TEL(0564)-64-0010 / FAX(0564)-64-0021

●豊橋営業所 豊橋市神野新田町字ヨノ割39-3
TEL(0532)33-2321 / FAX(0532)33-2323

●物流システム部 名古屋営業所 名古屋市昭和区白金3-7-12
TEL052-882-6413 / FAX(052)882-6731

●物流システム部 三河営業所 岡崎市大平町字榎田27
TEL(0564)-64-0077 / FAX(0564)-64-0066

●大型・港湾営業部 海部郡飛島村木場2-105
TEL(0567)56-0666 / FAX(0567)55-0733

●ソリューション営業部 名古屋市昭和区白金3-7-12
TEL(052)882-6445 / FAX(052)871-7244

●中古車部 海部郡飛島村大字梅之郷字東梅26-26
TEL(0567)55-3355 / FAX(0567)55-3988

●バッテリーサービスセンター(商品技術部) 小牧市大字間々原新田字上芳池198-3
TEL(0568)68-8841 / FAX(0568)68-8843

●小牧リフォークセンター 小牧市大字横内14-1
TEL(0568)77-5365 / FAX(0568)77-2514

●三好リフォークセンター みよし市助生町上永井田3-1
TEL(0561)33-5731 / FAX(0561)33-5737

●西尾リフォークセンター 西尾市新渡場町大西22-4
TEL(0563)54-6721 / FAX(0563)54-1751

●豊橋リフォークセンター 豊橋市神野新田町字ヨノ割39-3
TEL(0532)33-2321 / FAX(0532)33-2323

岐阜県

●岐阜営業所 岐阜市藪田東1-6-3
TEL(058)272-7161 / FAX(058)272-7166

●大垣営業所 大垣市内原1-156
TEL(0584)89-8051 / FAX(0584)89-8303

●多治見営業所 多治見市白山町4-31
TEL(0572)22-7288 / FAX(0572)23-1736

●恵那営業所 恵那市大井町字雀ヶ根2087-491
TEL(0573)25-1602 / FAX(0573)25-1603

●美濃加茂営業所 美濃加茂市加茂野町加茂野字東野35-1
TEL(0574)28-2001 / FAX(0574)28-1871

●高山営業所 高山市下切町1157
TEL(0577)33-4020 / FAX(0577)33-6542

●美濃加茂リフォークセンター 美濃加茂市加茂野町加茂野字東野35-1
TEL(0574)28-2001 / FAX(0574)28-1871

三重県

●四日市営業所 四日市市富士町3-4
TEL(059)331-4481 / FAX(059)331-4964

●大安営業所 いなべ市大安町高柳村前2158-1
TEL(0594)78-0222 / FAX(0594)78-0303

●龜山営業所 龜山市田村町字若宮1131
TEL(0595)83-1861 / FAX(0595)83-1867

●松阪営業所 松阪市大口町字西115
TEL(0598)51-0824 / FAX(0598)51-0168

●尾鷲営業所 尾鷲市小川東町31-20
TEL(0597)23-1757 / FAX(0597)23-1758

●伊賀営業所 伊賀市柏野601
TEL(0595)45-3611 / FAX(0595)45-3613

●四日市リフォークセンター 四日市市富士町3-4
TEL(059)334-1261 / FAX(059)331-4964

●大安リフォークセンター いなべ市大安町高柳村前2158-1
TEL(0594)78-0222 / FAX(0594)78-0303

本社

名古屋市昭和区高辻町6-8
TEL(052)882-6411 / FAX(052)883-0124

白金オフィス

名古屋市昭和区白金3-7-12
サービス部 お客様相談課フリーダイヤル：0120-497-835

海外

トヨタツウショウフォークリフトタイランド
豊田通商株式会社様と合併で、タイにフォークリフト専門販売会社を設立しています。



会社概要

トヨタL&F中部株式会社

商号 トヨタL&F中部株式会社

本社 名古屋市昭和区高辻町6-8

代表者名 長谷 武

設立 1960年8月15日

決算期 3月

資本金 4,000万円

事業内容 トヨタの産業車両(フォークリフト・ショベル・トローイング等)

物流システム、周辺・環境機器の販売とアフターフォロー
産業車両のレンタル・リース、保険業務

AT group 株式会社ATグループ		
トヨタL&F中部は(株)ATグループの一員です。		
株式会社ATビジネス	愛知トヨタEAST株式会社	愛知トヨタWEST株式会社
株式会社トヨタレンタルリース愛知	愛知ススキ販売株式会社	株式会社アトコ
株式会社トランセット	愛知クレジットサービス株式会社	トヨタ情報システム愛知株式会社
トヨタホーム愛知株式会社		

2025年3月時点